

科目名		授業形態	担当教員名	
言語発達障害演習Ⅰ		講義・演習	西田 和子・平口 昌広	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
インテーク、行動観察の見方、検査の見方とまとめ方、及び訓練記録のまとめ方を学ぶ。				
授業の到達目標				
グループ討議やレポート課題を通して、インテークから情報収集すること、及び行動観察と検査による評価の仕方を学ぶ。また、それぞれの内容について、情報のポイントが記載できるようになる。インテークの演習を通し、話の聞き取りやまた聞き取った情報の整理の仕方を知る。行動観察や検査の見る視点を身につけ、得た情報もとに学生間で討議を行い、まとめることができるようになる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション、インテーク（西田）			
2	インテークの実際（西田）			
3	新版K式発達検査：解釈、検査所見の書き方（西田）			
4	検査による評価（検査所見）（西田）			
5	行動観察による評価（西田）			
6	インテークの実際・情報の整理とまとめ、総合所見（西田）			
7	インテーク（FB） 検査による評価、子どもの行動観察（西田）			
8	子どもの行動観察（FB）（西田）			
9	保育場面の評価①（平口）			
10	保育場面の評価②（課題）（平口）			
11	子どもの行動観察演習①（ケーススタディ）（平口）			
12	子どもの行動観察演習②（レポート課題）（平口）			
13	子どもの行動観察演習②FB（平口）			
14	子どもの行動観察演習②（レポート課題）（平口）			
15	全体のフィードバック（レポート課題）（平口）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	100%	レポート課題（西田50%、平口50%） 基準に達しない場合は再提出がある。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版		玉井ふみ 編	医学書院	
最新 言語聴覚学講座 言語発達障害学		石坂郁代・水戸陽子	医歯薬出版株式会社	
言語聴覚士のための臨床実習テキスト―小児編		深浦順一 他著	建帛社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
ことばの障害入門 入門コース・ことばの発達と障害2		西村辨作 編	大修館書店	
ことばの障害の評価と指導 入門コース・ことばの発達と障害2		大石敬子 編	大修館書店	
発達がわかれば子どもが見える		田中真介 監修	ぎょうせい	
自由記載				
備考				